

◆エンデュランスにおいて発生した車両火災についての公式見解

9時前ごろ、上智大・東大に続く2組目に出走した車両の後部から出火がありました。火災はドライバー交代直後、観客席側のストレートを抜けてスラロームに差し掛かったところで発生。

ドライバーは速やかに車両から脱出し、車両については現場付近の動的エリアスタッフが即座に消火にあたり、車両火災発生から1分以内で消火が完了しました。消火と同時に、コースマーシャルがレッドフラッグを振り競技を一時中断しました。

ドライバーには外傷はありませんでしたが、念のため速やかに現場で待機していたドクターのもとに搬送され、チェックを受け、無事を確認しました。消火後は動的エリアスタッフがコース清掃を行い、15分ほどのコース中断ののち競技を再開し、現在は再び滞りなく競技を進行しています。天候に恵まれて路面温度は順調に上がってきており、コースは絶好のコンディションとなっています。

火災のあった車両については車検スタッフが回収し、ステージエリアにおいて出火原因を調査しました。

調査の結果、出火の原因は、デリバリーパイプ固定ボルトの疲労破壊により燃料漏れが生じ、それが排気管にかかって火災となったものと判明しました。

以降エンデュランスに出走する車両については、燃料系の漏れや緩みがないか出走前に再度確認し、安全を確保したうえでスタートしています。

